

議 事 録

会議名	山梨がんピアサポート希望の会 第 100 回定例会
日 時	2019 年 11 月 24 日 9 時～10 時（事務局会議） 10 時～12 時 20 分定例会
場所	山梨大学医学部管理棟 2 階中会議室
参加者 イニシャル	A.A/ K.K/ K.N/ T.M/ N.H/ H.M/ H.K/ Y.Y/ W.N/ W.K/ N.M/ A.H/ H.K (計 13 名) オブザーバー：佐藤弥教授

議 題	1、がん診療連携拠点病院と指定要件及びピアサポート、がんサロンについて 2、新規メンバーを中心に、自分の物語を語る 3、事例検討 4、県民のためのがんセミナーより沼野尚美チャプレンの講話概要
-----	--

議事内容

1. について

山梨県のがん診療連携拠点病院は 4 つ、そして診療病院は 1 つ。その中で、がん体験者によるピアサポートを行っている施設は少ない。サイコオンコロジー学会が委託（総務省及び厚労省）を受けて日本のピアサポート事業状況を調査しているが、今後の展開がどうなっていくのか注目していく。「山梨がんピアサポートのぞみの会」は、既に 10 年の実績を持つ。2008 年から山梨県による検討が始まり、2010 年からピアサポーターの育成を開始し、今年で 10 年。本定例会も、第 1 回の養成講座受講者をはじめ、第 10 回養成講座受講者までが、同じ場で意見交換と情報共有できている。このような環境を大切に育てていきましょう。

2. について

参加した 13 名が、それぞれの体験知と告知当時の心もようを共有した。特に新規メンバー（第 10 回養成研修者）は長めの時間をとって体験の物語を話した。既存のメンバーからの自己紹介でも初めて伺うことが多く、話すことの重要性を改めて感じた。

3. について

山梨県民の日に小瀬公園で開催された出張ピアの報告を受けた。3 件のピア相談があり、充実した出張ピアだった。

また、院内ピアサポートでの事例検討を行った。困難事例といえる内容だったので、参加メンバーからたくさんの意見が寄せられ、もし再度お越し頂いたら、より適切な寄り添いができると思われた。

4. について

11 月 23 日に、山梨県立中央病院で開催された『県民のためのがんセミナー』での沼野尚美チャプレンのご講演内容を共有した。テーマは『今を生きるコツ』5 つを参加者と共有。

1、前向きに生きる・・・そのために必要な 3 つのポイント

- ① 人生の困難の前で、何を想像することができるか（自分を取り戻す作業）
- ② 乗り越えてきた苦勞を想う
- ③ 信仰は確信を与える・・・苦しいときの神頼みでよい

「神様は、耐えられない試練は与えない」

2, ユーモアを持って生きる（ギャグではないのでその点は要注意）

3, 感謝して生きる・・・私にとって「ちょうど良い人生」

4, 趣味を持って生きる

できたら寝たきりになってもものめり込める趣味がお得。今のうちから準備してね。

5, 家族の絆を育てて生きる。

- ・ 愛を伝える

- ・ 伝わるように伝える

- ・ 努力をもって伝える

- ・ 家族がいなくても、近い人（できるだけ少人数できたら一人に絞る）と絆をつくる

以上、参加した W.N の個人的まとめですが、メンバーと共有しました。

定例会
次回予定

第 101 回定例会

2019 年 12 月 22 日（日） 10：00～12：00 山梨大学医学部管理棟 2 階中会議室

本年最後の定例会です。事例検討や、体験談の共有を中心に充実した時間を過ごしましょう。

司会 H,K

文責：W.N